

第27回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年1月

応募者名:長野県建設部松本建設事務所

事業の名称:都市計画道路 内環状南線街路事業

実施都市名:松本市

事業目的

内環状南線は、松本市中心部への交通の集中から慢性化している交通渋滞を緩和するため、国土交通省、長野県、松本市が計画的に進めている松本都心環状道路(内環状線)の南側を形成しています。

この事業によって、交通を分散させ、中心市街地へのアクセスの円滑化や安全で快適な歩行空間を図るとともに、松本市街地の活性化を促進します。

事業概要

事業名称:都市計画道路 内環状南線街路事業

路線名:都市計画道路 内環状南線

事業箇所:松本市 鎌田

事業延長:403m

幅員:31.0m

事業費:約32億9千万円

事業実施期間:平成15年度～平成25年度

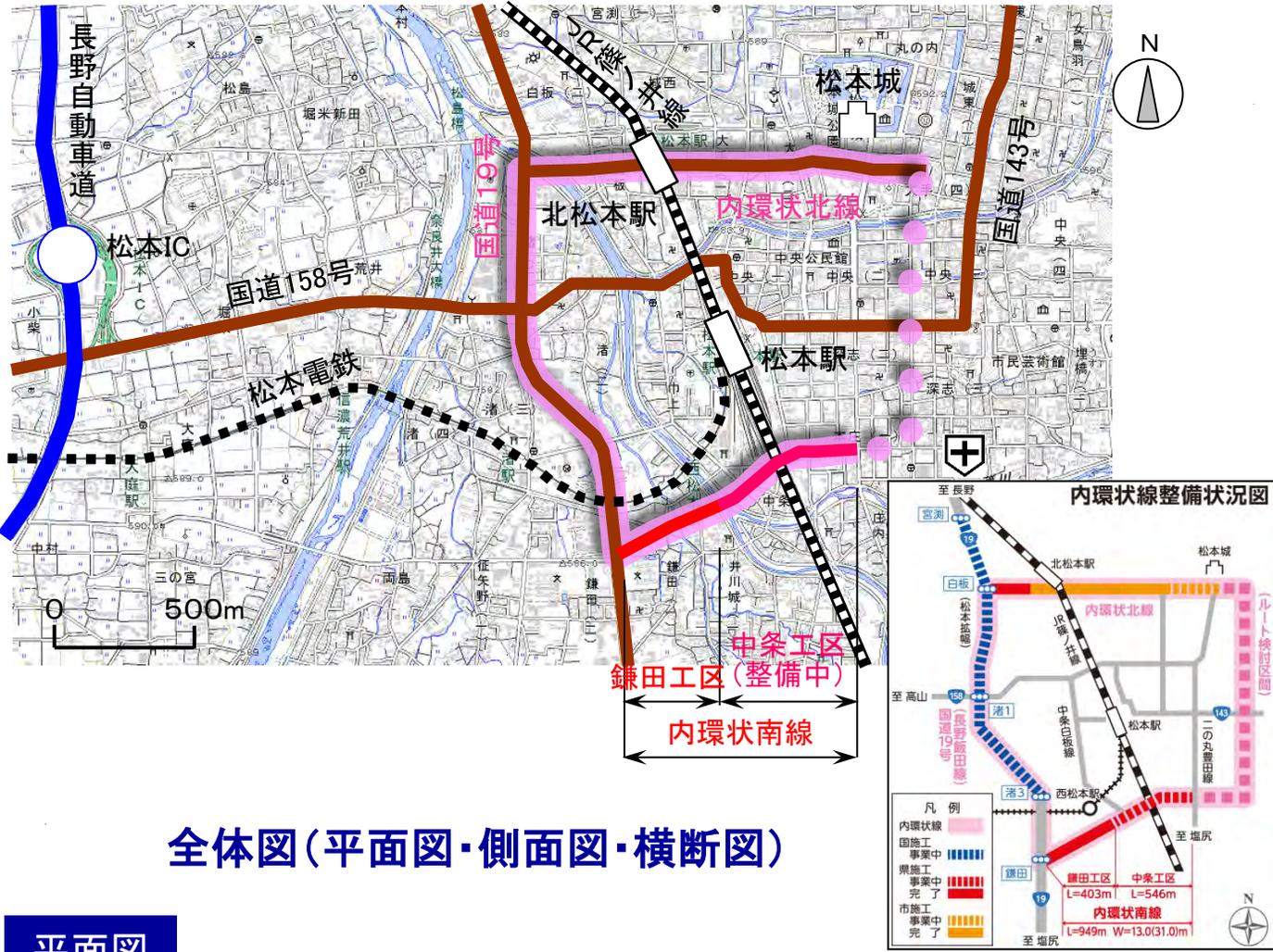
本事業は、松本市の骨格を形成する松本都心環状道路(内環状線)のうち、内環状南線鎌田工区を整備したものである。

本事業の完成により、松本市街地に集中する交通が分散され、渋滞の緩和が図られたほか、既に完成している「松本駅アルプス口」との結節が強化された。

歩道の新設、歩道と分離した自転車道の整備では、歩行者・自転車ネットワークが確保されるなど、中心市街地の活性化と利便性の向上に寄与した。

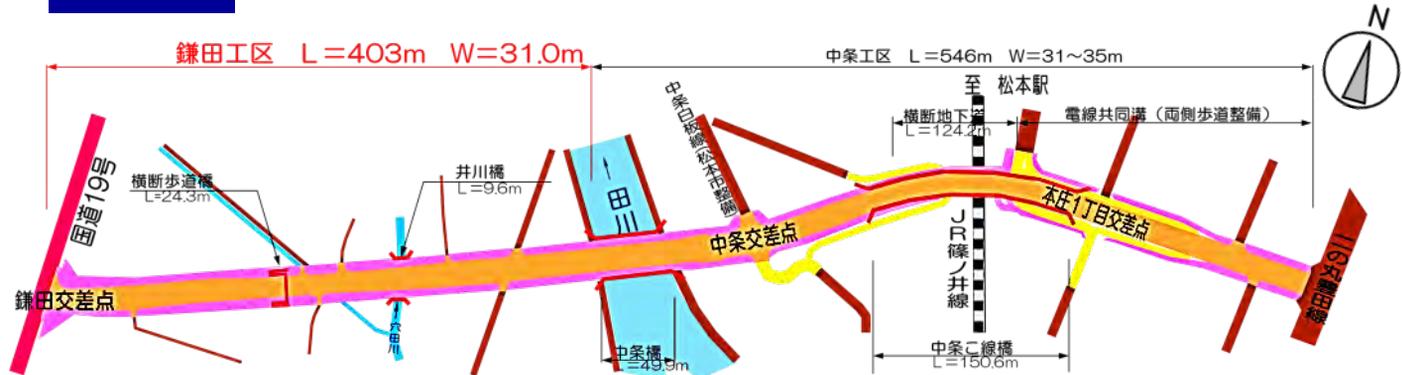
また、維持管理では、沿線住民が率先して参加するなど、利用者から愛着をもたれる道路整備を目指した。

事業位置図

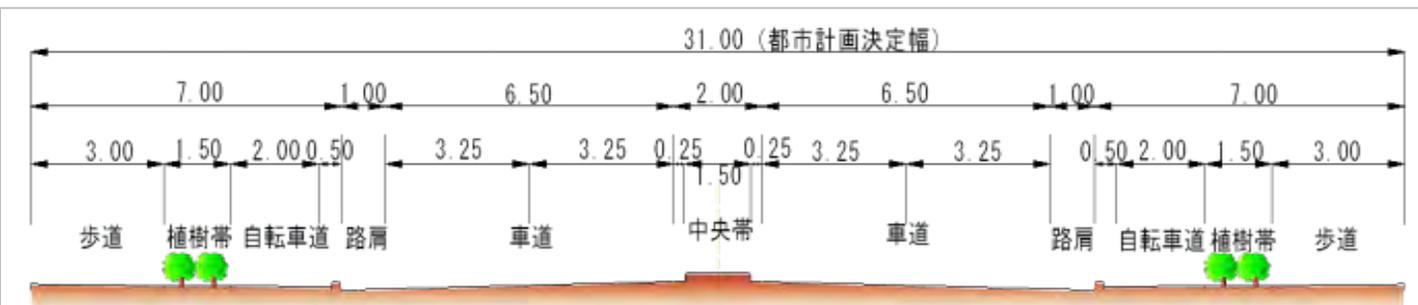


全体図(平面図・側面図・横断面図)

平面図



標準横断面図



内環状南線の整備効果アピール資料

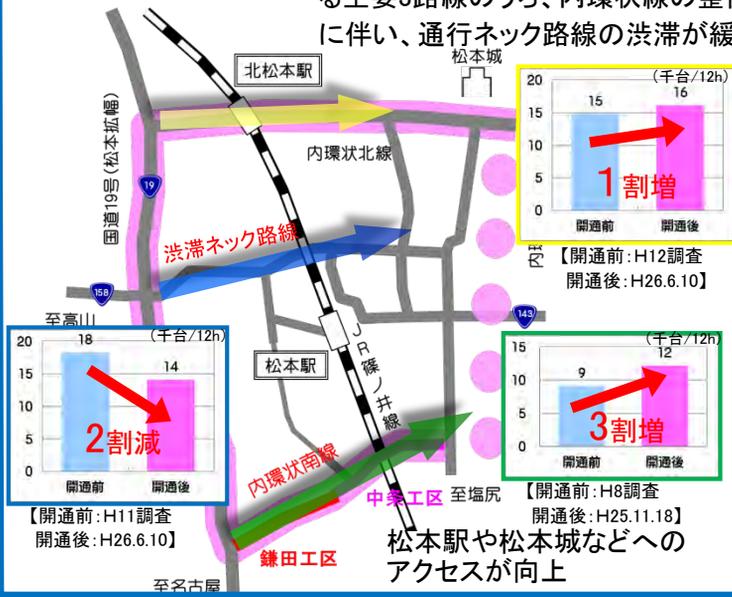
事業概要

事業名: 都市計画道路内環状南線街路事業
 路線名: 都市計画道路 内環状南線
 事業箇所: 松本市 鎌田
 事業延長: 403m
 幅員: 31.0m
 総事業費: 約32億9千万円
 事業期間: 平成15年度～平成25年度

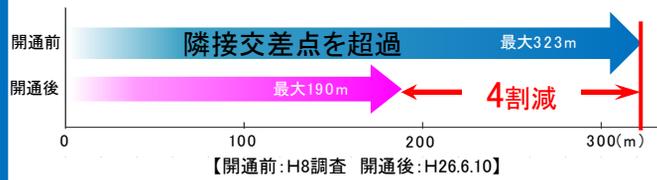
開通による直接的効果

交通量の分散効果

国道19号からJRを横断し、市街地へ入る主要3路線のうち、内環状線の整備に伴い、通行ネック路線の渋滞が緩和



最大渋滞長の推移 (内環状南線鎌田交差点)



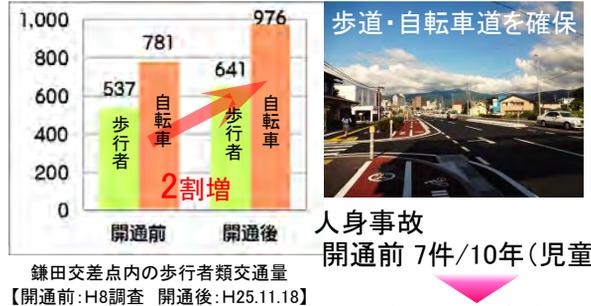
所要時間の短縮 (内環状南線鎌田から中条間)

沿線にある救急医療施設までの搬送時間が短縮



安心・安全な歩行空間の確保

歩道部には、透水性舗装を採用
 自転車道の整備により、自動車、歩行者と分離
 市街地内の自転車・歩行者ネットワークを確保



副次的効果

沿道環境の改善

車道部には排水性舗装を採用。騒音が改善し、住環境が向上。

開通前: 昼69dB、夜64dB (H20測定)

開通後: 昼60dB、夜55dB (H25測定)

災害時の対応

平成26年2月の豪雪では、路肩、自転車道等が1次堆雪場所として利用され、円滑な通行が確保された。



中心市街地の活性化・利便性の向上

沿線町会の人口が倍 新たに市内と近郊を結ぶ路線バス等、2路線の運行が開始。



景観への配慮・維持管理

歩道部へ植栽を行い、周辺環境との調和を図っている。

設置後は、地元による維持管理が行われている。

(写真は、近隣小学校児童による植樹の様子)



事業前写真

平成19年10月撮影



渋滞状況

平成19年10月撮影



渋滞状況

平成15年11月撮影



整備が完了した松本駅アルプス口



歩行者通行状況

平成19年8月撮影



航空写真



国宝松本城までのアクセスの確保



市内における音楽・文化・芸能
イベントの開催

事業後写真

平成25年9月撮影



2車線から4車線への整備により、安全で円滑な交通が確保され、市街地への流入が飛躍的に向上した。歩道部には、あらたに歩道、自転車道、横断歩道橋が整備され、隣接する小学校、中学校への通学に利用されている。

平成25年9月撮影



朝夕の通勤・通学に利用



歩行者・自転車の分離

供用前の記念植樹



横断歩道から横断歩道橋へ



横断歩道橋を利用する児童

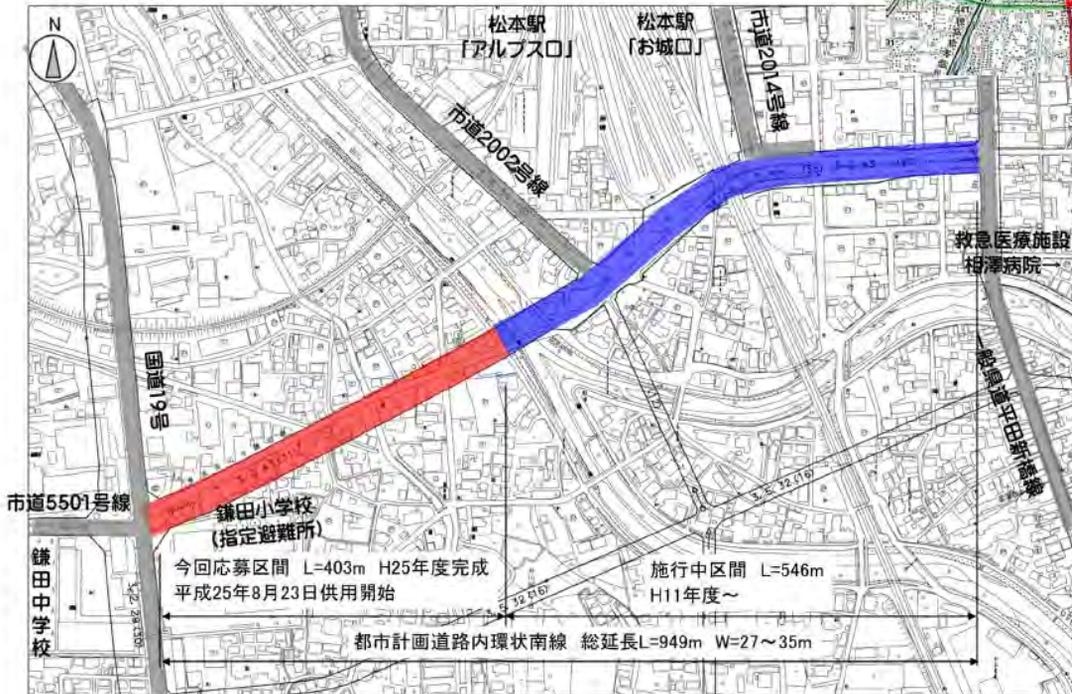
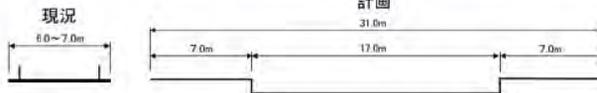


国道交差点では、付加車線が確保され、スムーズな通行が可能となっている。

路線全体の進捗状況

都市計画道路内環状南線(鎌田工区)

(標準断面)



凡例	
	今回応募区間
	施行済み区間 (完成区間)
	施行中区間
	環状道路